

町立三春病院 News



● ● ご支援ありがとうございました ● ●

3月11日の東日本大震災から3か月が経とうとしています。

かつてない未曾有の大震災によって、ここ三春町も少なからずその影響を受けました。

三春病院は建物を含め、その周辺は大きく損壊することなく無事でしたが、被災地からの患者さんの外来受診、町内外医療機関からの入院受入など、まさに震災直後から慌ただしい毎日でした。これらは、現在も続いておりますが、日に日によりやく落ち着きを取り戻せそうな状況に近づいてきています。

震災直後から三春町内外の色々な方よりご支援を頂きました。

病院という救命・救護を必要とされる患者様が多く集まる施設であることから、パン・おにぎり・飲料水などの食材、おむつ・包帯・消毒液などの医材、薬剤などが救援物資として多数寄せられました。

また、東京からの「DMAT(災害派遣医療チーム)」、「福島県立医科大学」など多数の医療チームが医療支援に訪れ、また三春病院も避難所となった三春交流館「まほら」や町民体育館、近隣の田村市総合体育館などにおいて医療活動を行いました。

今後も必要な医療を提供できるよう、職員一同頑張っていくとともに、紙面上で大変恐縮ではありますが、この場をお借りしてご支援いただいた個人、団体、企業の皆様に心より御礼申し上げます。



◎ 星総合病院からの医療体制が終了します

5月末日で星総合病院からの医療応援体制が終了致します。これにより、震災前の外来診療体制に戻りますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

また、震災の影響により震災前診療にあっていた医師が一部変更となります。それにより診療予定も変更となりますので現在調整していますので、決まりましたら、あらためて、ご連絡させていただきます。

◆ 乳腺外来拡充のお知らせ

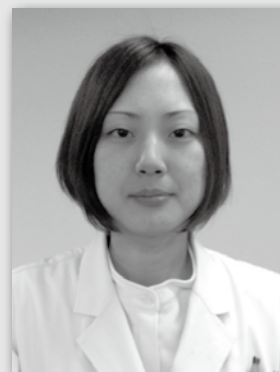
6月から8月までの期間限定で乳腺外来が拡充します。概要は右記のとおりです。

詳しくは、お問い合わせください。

▼ 診療体制の拡充

現在の外来	6~8月
毎月第2木曜・午前	毎月第2木曜・午前
毎月第4木曜・午前	毎月第4木曜・午前
	毎週金曜・午後(拡充)

今月のコラムニスト



町立三春病院
家庭医療科
医師 井上 みき 先生

★ 家庭医療科の診療については、病院窓口へおたずねください。

三春病院 家庭医療科だより

福島からのメッセージ

三春町のみなさん、こんにちは。新緑がまぶしい季節ですね。この時期の木々の緑は、太陽の光が透けるくらい柔らかくて、見ていると清々しい気分になります。まもなく今年3月に甚大な被害を及ぼした東日本大震災から3か月が経とうとしています。先日、私たち家庭医療科の医師が所属する福島県立医科大学地域・家庭医療学講座が主催し、「福島からのメッセージ」と題したフォーラム(勉強会)を東京で行いました。震災後の福島の医療がどんな状況であったか、東京近郊に住む医学生・初期研修医たちに知ってもらおうという企画でした。

福島医大地域・家庭医療学講座では、ここ三春だけでなく、保原・只見・いわき・相馬・喜多方など福島県内各地で医師が診療と研修を行っています。それぞれの地域で被災状況に違いはありましたが、それが困難ではあってもそれぞれの地域の実情に合わせて医師としてできることを続けました。

今回の震災の特徴のひとつとして、死者の中で津波による溺死が9割以上を占め、重症患者さんがあまり多くなく、避難所で体調を崩す人や薬を失くして症状が悪化する人など、通常と同様の医療を必要とする人が多くを占めたことが挙げられます。このため、各地で薬などの医療資源の確保を行ったり、避難所を回って健康チェックを行ったりといった活動が行われました。それに加えて震災前の診療機能の維持が続けられるよう努力がなされました。

しかし、今でも避難生活を余儀なくされている方が大勢おり、今後も引き続き、環境の変化によって体調を崩す人たちのケアやこころのケアを行っていく必要があります。震災からの復興のためにはまず、健康なからだが大切です。みなさん、からだの調子が悪いときにはいつでもご相談ください。

前述の東京でのフォーラムには、医学生・初期研修医の人たちが多く参加してくれました。現場の声を聞いて、ひとりでも応援したいと思う人が増え、また、福島で一緒にがんばっていきたくてほしいと思う人が増えてきてくれたらと願っています。

【町立三春病院 家庭医療科 医師 井上 みき】